

観光にも 発想の転換を

津山新星会議 米 井 知 博



質問↓観光も団体行動型から個人のニーズ満足型に変化しているなかで、自然薯バスツアーは好評だが地元協力が不可欠だ。津山の紹介を脱「西の小京都」と指摘されているように発想の転換が必要だ。阿波森林公園、黒木キャンプ場のバンガローを冬も活用すべきだ。全国的に団塊の世代の行方が注目されている中で観光に取込まない手はない。ワーキングホリデーを津山流に

アレンジして観光、農業施策に対応できないか。

答弁↓自然薯ツアーは好評で地元の受入態勢に感謝している。他にもバス五、六台のツアーを協議している。最大のターゲットは団塊の世代と考えている。ワーキングホリデーは先進地を参考に検討する。キャンプ場は年間を通じた利用を検討する。

市長交代の可能性の時期 総合計画は慎重にすべき

日本共産党津山市議員 末 永 弘 之



質問↓総合計画について、リコールの成立により市長交代という可能性が生じている時期であり、決定は新市長のもとで行うべきではないか。

答弁↓自治体に義務つけられたものであり市長の交代で、街づくりの理念が大きくかわることではないと思う。

質問↓日本原自衛隊基地をつかってアメリカ兵の海兵隊と自衛隊による、日米共同訓練を行うと防衛庁は発表した

答弁↓拒否しても訓練は行われるとされている。基地使用協定の範囲で行われるものであれば、反対するものではない。

チップボイラー導入 について

不羈の会 小 栗 興 治



質問↓チップボイラーの導入計画が進んでいると聞くが、どの施設にいつ頃導入する予定か。

答弁↓今のところ阿波温泉とグラスハウスを予定している。稼働時期は、国、県などの補助事業と関連するので現時点ではハッキリ言えないが早急に実現したい。

質問↓木材チップの原料を安定的に供給

答弁↓詳細は専門のコンサルに依頼している。原料は伐採木や間伐材の残材を使用、森林所有者から有価で買い取り加工は県森連の既存施設で行う。初期投資は大きい原油高などでランニングコストは下がる見込みがある。

津山市の 外郭団体

津山新星会議 竹 内 邦 彦



質問↓津山市からの出資比率五十%の外郭団体の補助金の性質と効率的運営がなされているのか。また、指定管理者制度導入で運営に影響はあるか。

答弁↓補助金決定には団体運営補助金審査委員会で審査され、新規や見直しを行い予算に反映。既存の補助金は三年ごとに見直し、外郭団体の人件費や運営資金に補助している。「官から民へ」の流れの中で民法により設立した都市

質問↓整備公社等は指定管理者となり得る法人であり今後も必要な団体。
答弁↓シルバー人材センターは公平に仕事に分配され、設立目的に沿った運営がなされているのか。
答弁↓専門技術が必要な場合が多く、講習会等で技術向上に努めている。事務局としては公平性を念頭においているが、希望通りにいかないのが現実。